

とにかく、私の周りにはハニー珈琲のファンがいっぱい！  
以前、Facebookに  
「今日はハニー珈琲にコーヒー豆を買いに来ました」とアップしたら、  
「私もファンです」のコメントが  
たくさん届いて驚きました(失礼!)。  
今回ご登場いただくのは、  
ハニー珈琲の代表取締役・井崎克英さんです。

# 世界はいい男と 世界の美女と 同じだね。

## ●社長のダジャレ好きは本当？

本当です。ウワサには伺っていましたが、ほぼ初対面の私に対して、さりげなくダジャレを織り交ぜるあたり、かなりの常習犯とお見受けいたしました。しかし、ひとたびコーヒーの話題に及ぶと、幅広い知識とコーヒーへの愛情が言葉の端々から溢れ出します。中でも、味の表現に関するボキャブラリーの豊かさには感動すら覚えてしまいました。

## ●実はCOEの国際審査員。その舌は、まるでソムリエ！

COEとは、カップ・オブ・エクセレンスの略で“世界で最高のコーヒー豆を決めるコンテスト”のこと。井崎社長は、その国際審査員の一人として世界9か国で開催される大会に参加されています。渡航費は自腹と聞いて驚いたのですが、社長曰く「COEは世界中から集まる国際審査員と顔見知りになることができますからね。そして何より、そこでしか出逢えない最高の豆を競り落とす絶好のチャンスなんです」ハニー珈琲の店頭に並んでいるスペシャルティコーヒーの豆は、社長自ら吟味して世界中から集めていらっしゃるんですね！

## ●重要なのは、酸味の“質”

そもそも、スペシャルティコーヒーとは何ですか？「簡単に言うと、純粋に味だけで評価されたコーヒーのことです。コーヒーの味は、甘さ・酸味の質・香り・舌触り・後味など8項目の総合点で評価され、私は最も重要なのは酸味の質だと考えています。お客さまからよく“酸味の少ないコーヒーをください”と言われるんですけど、あえて酸味のあるケニアやコスタリカをおすすめすると、“あらっ、これは大丈夫”って言うんです」確かに！私も以前はその一人でした。では、井崎社長が一番好きなコーヒーは何ですか？「それこそ難しい質問ですね。

世界各国の美女に囲まれて、誰が一番好き？と聞かれているようなものですよ。みんな違って、みんないい(笑)。あとは好みの問題ですね」…なんて分かりやすい例え！恐れ入りました。

## ●音楽鑑賞、ロードバイクと多趣味！

コーヒーの世界は本当に奥が深く、紙面が全く足りないので社長の趣味のお話を少々。井崎社長は音楽鑑賞がお好きで、タンゴやジャズ、ラテンなど幅広く聴いていらっしゃいます。中でもオペラが特に気に入りでいらして、一番好きなのはワーグナーです。「初めてレコードで聴いた時は、壮大な物語の世界に一瞬で引き込まれました」他にも、自転車(ロードバイク)に乗っていた頃は、毎日40~50kmの距離を走行していたという健脚の持ち主でもあります。う〜ん、これってまさに女性が弱い"ギャップ"じゃないですか？

## ●インタビューの最後に、衝撃の一言が！

そもそも、月イチHappyの取材に快く応じてくださったことにも驚きで、インタビューの最後に改めて感謝の意を伝えると、「いえいえ、断る理由もないでしょう。ところで、これって…何の取材でしたっけ？」と井崎社長。気さくなお人柄にも程があります。ますますファンになってしまいました。これからも、すてきな笑顔と美味しいコーヒーで私たちにHappyを振りまいてくださいね！

Profile  
ハニー珈琲／代表取締役 井崎 克英  
1953年生まれ、福岡県出身。1977年から21年間、学習塾を経営していたが、1996年に福岡市南区の野間ダイエー内『ハニー珈琲』の経営を頼まれコーヒーの世界に進出。2001年、スペシャルティコーヒーとの出逢いをきっかけにコーヒーにのめり込み、現在は「本当に美味しいコーヒー」を追い求めて世界各国を駆け回る。

